

大野見地区より

大野見は良いところやきね〜♪

よしおかしんご
吉岡 伸悟さん (41)

大野見奈路の吉岡文具産機で小売事業を行っている明るく気さくな吉岡さん。大野見出身で広島や高知市内でも働いていましたが、仕事の都合で大野見に帰ってきたそうです。

休みの日には「男の子2人の小学生の子供たちと、ゲームをしたりして一緒に遊んで。」と笑顔で話してくれ、ご家族の仲の良さが伝わってきました。将来は文房具屋をしていた祖父の跡地に文房具屋を建てて、「地域の人が集まってくれる場所になれば、そして大野見の人口も増えてくれれば嬉しい。」と話してくれました。これから吉岡さんの持ち前の明るさで大野見地域を盛り上げていってください！



TAKOYAKI POLPO

オススメは塩レモン♪

わかまつ まさひで
若松 正英さん (57)
たどころきょうこ
田所 京子さん (45)

四万十町香月が丘でたこ焼き屋を営んでいるご夫婦。正英さんはカメラマン、京子さんはブドウ農家でお二人ともたこ焼きが好きということもあり、昨年の11月にお店をオープンしました。

3種類の定番メニューから月替わりのたこ焼きがあり、毎月違ったオリジナルメニューのたこ焼きを楽しみに訪れるお客さんも多いんだとか……♪ こだわりはオリーブオイルで焼き上げるところ。口あたりが軽くヘルシーで、中はふわっと、外はカリッとしたたこ焼きに仕上がります！

出来立てをお渡ししたいので基本作り置きをせず電話予約をオススメしているそうです。店内に入ると笑顔が素敵な仲よしご夫婦が出迎えてくれます。愛情たっぷりのたこ焼きを食べると笑顔がこぼれること間違いなしです！

四万十地区より



Instagramも
チェックしてみてね♪



高西
地区

から こんにちわ 今月の〇〇 気になる人

津野山地区より

土佐甘とうと一緒に…

よしかとひろえ
吉門 広恵さん (35)

梶原町上本村で農作業を手伝う吉門さん。元々は車が好きて、自動車整備士として働いていました。梶原に戻り、結婚を機に義父の農作業を手伝っていたところ、現在働く岡田毅さんに声をかけられ、昨年からは本格的に農作業に従事しています。

「この子が来ると作物も人もパッと明るくなる。そういうパワーを持っている」と話す岡田さん。将来は就農を目指してもらいたいと期待を寄せています。吉門さんは「自信も技術も未熟なので……」と話しますが、「自分のペースで没頭できる農業は楽しい」と笑顔を見せてくれました。

いつかご家族で就農される日が来ることを期待しています！



3年ぶりに海開き！

興津に遊びに来てや〜

おしま かずひと
小嶋 一仁さん (80)

小嶋さんは平成12年から興津海水浴場内で営業している「農林水産加工所」の支配人を務められています。加工所と名前は付いていますが、メインは食堂という農林水産加工所。朝のモーニングは通年営業し、海水浴のシーズンに入ると軽食も提供しています。

加工所前の小さな畑では、小嶋さん自らトマトやレタス、スイカ等を栽培し、うまくできた物はお店の料理に使っているそうです。近年はコロナの影響で海水浴場やキャンプ場も閉鎖していましたが、今年は3年振りに海開きも開催し、閉鎖も解除されました。「以前は夏になると、県内外からの海水浴やキャンプへ来る人々で大変賑わっていたけど、年々来場者が少なくなっている、少しずつ以前の日常に戻りつつあるが、またあの頃のような活気が戻ってほしい。」と話され小嶋さんから興津地域への思いを強く感じました。

興津地区より



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！

令和4年度 第68回通常総会並びに一人一研究体験発表会
～高知県農協営農指導員会～



四国大会に出場が決まった小野指導員④

1 四万十地域 小野浩之営農指導員 研究発表会で最優秀賞受賞

四万十営農経済センター営農指導課の小野浩之指導員は高知県農協営農指導員会が6月24日開催した一人一研究体験発表会で「最優秀賞」を受賞し、四国大会への出場が決まりました。小野指導員は「ニラ部会 全面支援の取り組み」栽培から経営まで徹底して寄り添う大切さ」と題してニラ生産のこれまでの課題を的確に捉え、課題の改善に向けた生産者の生産力や経営力の向上、個別支援の取り組みに加え、新たなハウス内環境や出荷について情報を活用したデータ駆動型農業により、経営力のさらなる向上への取り組みを発表。課題解決に向けた資機材の導入面積や台数を増やすことで反収の向上に成功したことなどの実体験を発表に組み込んでいたことや、部会員の経営面談を行い一人一人の農家に寄り添っているという点が大きく評価されました。現在、ニラの新規集出荷場の建設も行われており、今後は、経営力向上で生産増となるニラを出荷へ繋げる事が必要となります。これからも生産者とともに取り組み、大きく活躍されるよう応援していきます！



収穫したナスをつめてもらいました。

2 津野山地域 津野町の農業を見学・体験

6月20日、津野町立中央小学校の6年生は地域の農業を見学・体験しました。同学校では、総合学習で地域の農業を学んでおり、津野山営農経済センターの見学で学習していた「米ナス」と「土佐甘とう」を栽培する芳生野地区の両よけハウスを訪問しました。子供たちは緊張した面持ちでそれぞれの生産者からの話に耳を傾け、質問をしたり、一生懸命メモを取っていました。実際の作業では米ナスには鋭いトゲがあることを身をもって伝えた担任の先生。現場と箱詰め丁寧に教えてくれた豊田さん。収穫した甘とうの試食でおいしさを伝えてくれた高橋さん。子供たちのために大人も一生懸命です。最後は収穫した野菜をお土産にもらい、とびぎりの笑顔で会場を後にしました。この中から未来の農業者が誕生することを期待しつつ……、蒸し暑い中で学習お疲れさまでした。

3 四万十地域 「四万十みょうが」 出荷最盛期 職員が出荷応援



ミョウガを確認しパック詰め機械にかけていきます。

四万十地区管内で6月中旬ごろ、ミョウガの出荷が最盛期を迎えました。経済部署だけでなく全部署から職員も応援駆け付け、JAと地域が一体となって特産ミョウガの出荷に注力しています。管内の四万十町興津地区は海岸部の温暖な気候条件を生かし、県内でも有数のミョウガ産地です。今年度は昨年の台風の影響で2割以上栽培面積が減り、出荷量の減少が心配されましたが、例年以上に出荷量は多くなっています。鮮やかな紅色とポリウム感が特徴で「四万十みょうが」として全国各地に出荷しています。今後も地域と一丸となって出荷に取り組んでいきます。

4 津野山地域 夏秋ピーマン生産者 四万十町の農家を視察



生産者らが熱心に意見交換をしています。

6月初旬、津野山管内の夏秋ピーマン生産者4人が、四万十町の夏秋ピーマン栽培現場視察を行いました。津野山管内では、昨年から夏秋ピーマンの試験栽培を始め、今年から新たに4人の生産者が他の品目から転換し、栽培を行っています。今回は現場の見学他に、袋詰のやり方も実演を交えて教えていただきました。コツを掴むまでなかなか難しい作業ですが、今回習ったことでスピードアップできそうです！
また、見せていただいた3ほ場では、それぞれ管理の仕方に工夫があり、自身の生育状況と照らし合わせながら熱心に意見交換を行いました。まだまだ出発地点。今後も栽培技術を磨き目標反収突破を目指します！

5 四万十地域 燃油及び生産資材 価格高騰に関する緊急要請



各市町村に要請をしています。

高西地区では、原油価格の急騰や生産資材、飼料等の高騰により、生産者の農業経営が圧迫してきていることから、関係市町村（四万十町、中土佐町、梶原町、津野町）に常勤役員、経済部課長で緊急要請を行いました。
燃油対策については「施設園芸等燃油価格高騰対策」の生産者積み立て分への支援、生産資材対策については肥料・飼料の高騰による生産者の負担軽減の構築を要請しました。現在、国や県の支援策も検討されており、市町村でも今後検討していくとの返事をいただきました。

6 津野山地域 土佐甘とう キンビールのCMに！



「たっすいはいかん！」と呼びかけています。

7月6日、津野山土佐甘とう部会の熊田光男さん敬子さんと夫婦がキンビールのCM撮影を行いました。熊田さんのハウスで土佐甘とうの収穫シーンや、敬子さんが調理した「土佐甘とうの豚肉巻き焼き」をキンビール高知支店長らと食べながら「うまいねえ！」と言いつつ土佐甘とうとキンビールをPRしました。
最後にはみんなで「たっすいはいかん！」と呼び掛け終始笑顔の溢れる撮影となりました。放送は高知放送で8月6日から1ヶ月半、毎週土曜日20時54分からの予定です。

津野山地域より

加工用ワサビ栽培

生産者募集

津野山地域の特徴

津野山地域は、高知県の梶原町と旧東津野村（現在の津野町の西半分）をあわせた地域で、四万十川源流の澄んだ水と、四国カルストの麓・豊かな自然環境のもと、園芸作物では主に米ナス、小ナス、シシトウ、土佐甘とう、ミョウガなどを栽培しています。今回は津野山地域の冬場でも栽培できる貴重な品目である「加工用わさび」の生産者を募集します。興味のある方は気軽にご相談ください。

【栽培スケジュール】

作目	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
加工用わさび	圃場準備	定植	かん水・追肥 温度管理 病害虫防除			収穫	調整	栽培終了 片付け	

【1aあたり生産収支の例】

収量	kg単価	売上	経費（約30%）	精算額（所得率 約70%）
400kg	350円	約14万円	約4万円	10万円

※この経営収支は津野山地域の過去の実績を基に算出しています。収量や所得を保証するものではありません。

【栽培のメリット】

- ・遊休施設の有効利用が可能である
- ・冬場の津野山地域でも栽培可能であり複合経営の補助品目となる
- ・栽培コストが低い
- ・契約栽培のため価格が安定している。



◎問い合わせ先： JA高知県津野山営農経済センター 経済課
高知県高岡郡津野町北川2281-4
(TEL. 0889-62-2335) (FAX. 0889-62-2381)



四万十地域より

～農業者・農地所有者の皆さまへ～

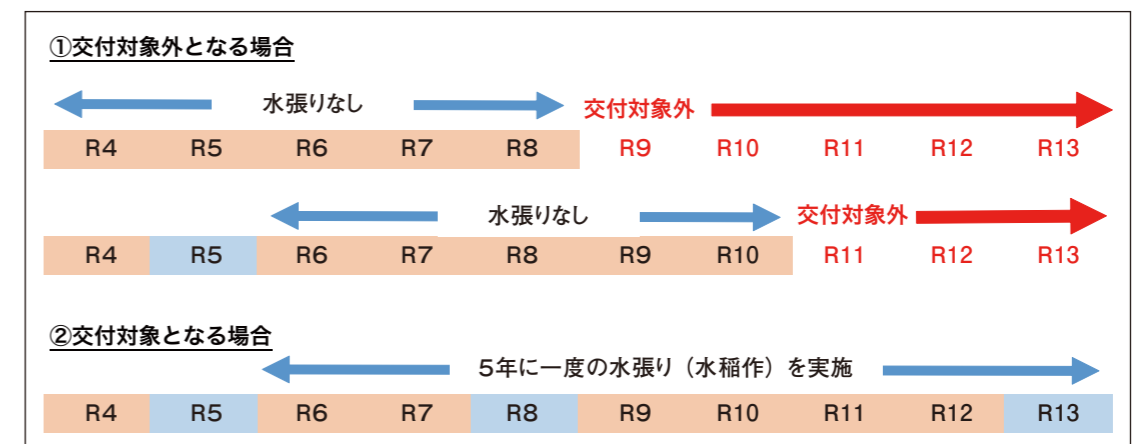
水田活用の直接支払交付金
(転作作物の交付金)の見直しについて

令和4年度より『経営所得安定対策推進事業』の『水田活用の直接支払交付金』の交付対象水田の考え方について見直しがありましたので以下の内容の通りお知らせいたします。

交付対象水田の考え方について

令和4年度より、『今後5年間（R4年～8年度まで）で一度も水張りが行われない農地は令和9年度以降、交付対象水田ではなくなります。（転換作物の交付対象外となります）』

令和9年度以降も交付対象水田として扱っていくには5年間で1回は水張り（水稲作）をしていただく必要があり、5年に一度の水張り（水稲作）を実施することで以降5年間は対象水田となります。



高収益作物畑地化支援（高収益作物等による畑地化の支援）

今後5年間で水張りをすることがない（転換作物が固定化しているなどの理由で）水田を畑地化する取組への支援となっています。（※交付対象水田からは除外されます）

助成単価は高収益作物（17.5万円/10a）その他作物（10.5万円/10a）となっています。

【主要要件】

- 前年度に主食用米や産地交付金の対象作物が作付けられていること ※注：景観作物や自己保全管理等は対象外となります
- 概ね団地化された畑地を形成すること
- 支援後5年間は販売目的作物を作付けすること

【支援申請】

- 畑地化の支援を希望される方は令和4年9月末までに再生協事務局までご連絡ください。
- 農地を借受している方は、農地所有者に了解を得た上でご連絡ください。

◎お問合せ先

四万十町役場農林水産課 四万十町地域農業再生協議会事務局 (TEL. 0880-22-3113)
JA高知県四万十営農経済センター 営農指導課 (TEL. 0880-22-5179)

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

俳句

霧の里句会

帰省子に連れられて行く沖ノ島
植えし田に緑の風のながれ行く

市川 和美

奔放に生きてみたしと巢立鳥
紫陽花や立ちて成就の枯れ姿

長谷部 延子

あるがまゝ花園に色添ふ花卯木
瓶の中いつこを指すききょう草

今橋 孝子

薫風やゆうゆう泳ぐ池の鯉
玄関に咲きしさつきを眺め立つ

竹内 春猪

背荷物に意気込み見えし徒歩遍路
梅雨晴れ間畑の草と格闘す

田中 信子

短歌

窪川短歌教室

鬼われを涙あふれくぼうつと佇つウクライナの母みさきちゃんの母

黒岩 やよえ

紫の蘭は咲きたり私がいちばん綺麗でしょうと胸を張りつつ

文野 見枝子

新聞の今日の運勢健康が二重丸にて気分らんらん

中内 佐登美

「おいしい」のあふるるテレビが写し出すひもじさ知らぬ人たちの顔

市川 隆子

束ねゆく古新聞に立ちいたり農人姿の秋山元宇宙飛行士

市川 浩子

亡き母の面影みるか母の日に甥から届くカーネーションが

北村 さちこ

クリクリしたお目々で笑みいし赤ちゃんもロシアの砲に果てたりと聞く

島岡 紀美

俳句

おたよりから

迎え火の風もないのに火が踊る

(津野町・弘瀬 秀頼)

産手舞ふ今朝飛び立ちぬ燕の子

(津野町・村田 三喜子)

散歩道せせらぎ止めるは泣き蛙

(梶原町・松山 松美)

INFORMATION

お知らせ



献茶スタッフ(パート・アルバイト)募集

仕事内容 葬祭会場での準備・接客・掃除等

*未経験者可
*詳しくは下記までお問い合わせください。

お問い合わせ JAメモリアルこうち四万十営業所
(JA葬祭ルミエール四万十)
四万十町榊山町9-7
TEL 0880-22-5900